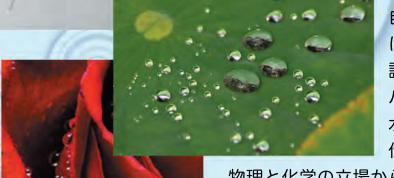
水面をスイスイと移動するアメンボ、朝露に濡れた植物、 雨粒がコロコロと転がるハスの葉など、

いろいろな昆虫や植物の濡れを見ることができます。このような昆虫や植物の濡れの現象を理解することは



私たちの日常生活を含めて 自然を広く深く理解すること にもつながります。 講演では、アメンボや ハスの葉の濡れの現象を例として、 水に濡れる・濡れない表面の 仕組みはどうなっているのか

物理と化学の立場から考えたいと思います。

2017年9月2日 (土)

昆虫や植物の濡れを 物理と化学から考える

旭川医科大学 医学部化学教室

眞山 博幸

BIOMIMETICS

バイオミメティクス・市民セミナー

会 場:北海道大学総合博物館/1階「知の交流」

札幌市北区北10条西8丁目

時 間:午後1時30分から午後3時30分

主 催:北海道大学総合博物館 共 催:科学研究費新学術領域「生物規範工学」

催:科学研究費新学術領域「生物規範工学」 高分子学会北海道支部

協 賛:千歳科学技術大学バイオミメティクス研究センター

北海道大学総合博物館

060-0810 札幌市北区北10条西8丁目 問合せ先: TEL.011-706-2658 FAX. 011-706-4029 E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

